

# ボウリングにおける投球フォームの比較分析

## 目的

ボウリングの投球において、理想的なフォームを学習する前と後とは、投球フォームにどのような変化がみられるか比較し、分析する。

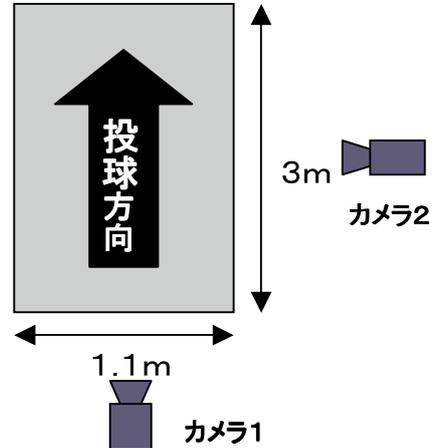
## 撮影方法

縦3m横1.1m高さ2mの実験エリアをつくり側面と背面の2方向からカメラで被験者を撮影した。

## 被験者データ

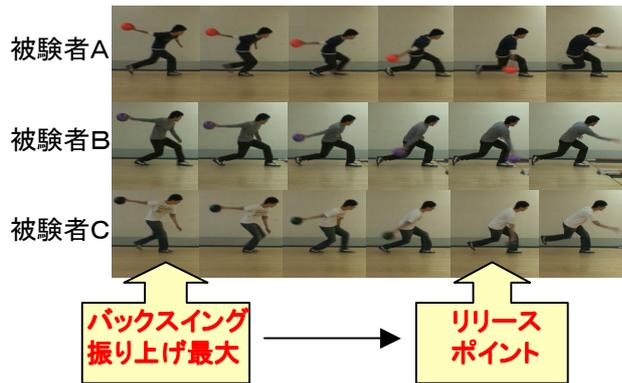
	身長	体重	年齢	球の重さ
被験者A	169cm	53kg	21歳	9ポンド
被験者B	170cm	60kg	22歳	11ポンド
被験者C	180cm	65kg	21歳	12ポンド

東京情報大学 総合情報学部  
情報文化学科 石井ゼミ 4年  
C04034 大澤健二

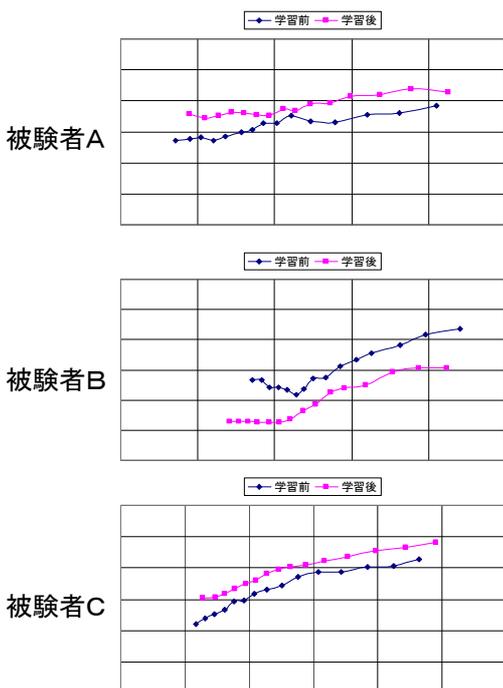


## 実験方法

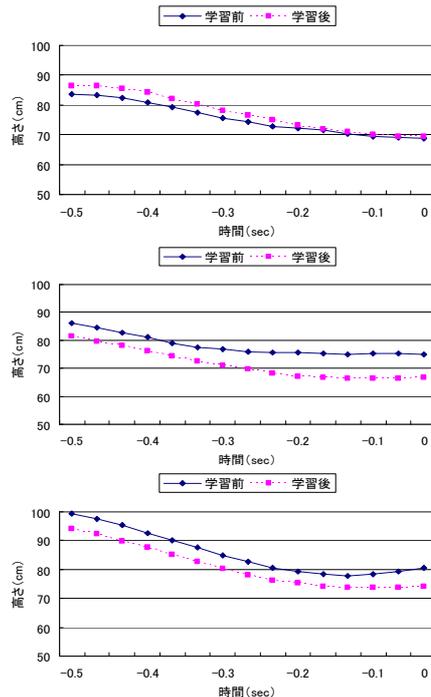
被験者3名にボウリングを実際に行わせ、その様子を撮影した。後日ボウリングに関する参考資料や映像を被験者にみせ、再びボウリングを行わせた。撮影場所が限られていたため、本実験ではフォワードスイングからリリースまでの動きに着目した。



### 上から見た右手の動き



### 重心高の変化



### 肩角度の変化

